

東日本大震災共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.1
2011.3.14

「東日本大震災 岩手県共同対策本部」設置



共同対策本部長よりみなさんへ

3月11日（金）午後2時46分に発生した観測史上国内最大規模（マグニチュード9.0）の大地震と大津波は、岩手県内の沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしています。

3月13日午前には労働組合、民主団体、共産党の各代表が集まり、「東日本大震災岩手県共同対策本部」を設置しました。本部長に鈴木露通いわて労連議長がなり、事務局をいわて労連内に置くことになりました。

今回の大地震・大津波による被害はあまりにも深刻で、現在、行方不明者の救助や捜索に全力を上げています。被災地の沿岸部に通じる主要道路は通行止めになっており、自衛隊や救助隊などの通行のみでそれ以外の通行はできません。また、ガソリンなどの燃料が確保できない事態ともなっており、現在は救援物資の輸送やボランティアが現地に入れられない状況です。これらが可能となった場合に連絡をします。

現在、共同対策本部としては「被災者救援活動のためのカンパ」と情報やメッセージの受付を行っています。共同対策本部内の構成員およびその家族・親族の安否を確認できない中ですが全力を

上げます。全国のみなさんのご支援を心からよびかけます。

1. 県共同対策本部体制について

本部長 鈴木露通（いわて労連議長）
副本部長 斎藤 信（日本共産党県委員会副委員長）
事務局長 金野耕治（いわて労連事務局長）
事務局次長 佐々木敏幸（盛岡労連事務局長）

2. 「被災者救援活動のためのカンパ」 振込先について

金融機関名 東北労働金庫盛岡支店（店番 062）
□座番号 普通預金 5857558
□座名義 岩手県労働組合連合会（いわて労連）議長 鈴木露通
（すずきつゆみち）

3. 事務局

〒020-0015 盛岡市本町通 2-1-36 浅沼ビル5階
岩手県労働組合連合会（いわて労連）内
電話 019-625-9191
FAX 019-654-5092
Eメールアドレス roren@giga.ocn.ne.jp
（いわて労連ホームページから入れます）

4. 共同対策本部の当面の活動

第1に、構成団体が各構成員の安否確認など情報収集に全力をあげ、その内容等を事務局に集中する。第2に、共同対策本部から「被災者救援活動等のためのカンパ」をよびかける。第3に、いわて労連内に情報掲示板を設置し各構成団体から寄せられた情報・メッセージを掲載する。第4に、事務局ニュースの発行。以上の4つの取り組みをします。



◎単産の取り組み

●県医労では 14 日午前中に、東日本大震災にかかる申し入れを県医療局長に行いました。

「情報を共有し、被災者支援に協力し合うこと、職員の体調管理に配慮すること、職員の交通手段を確保すること」などを申し入れました。

医療局は情報交換を約束しました。その席で「震災当日の日勤者の安否は確認された。非番等はこれからの状況です」と話しがありました。

●建交労では、県から通行許可を取り、救援物資の輸送に協力。

●岩手自治労連では各単組に確認をとっています。現在、山田町、大槌町、釜石市は全く連絡が取れない状況です。

※共同対策本部では情報を集めています。メールかFAXで情報・写真等をお寄せ下さい。

★災害ボランティアは募集していません。余震が断続的に発生していることや、沿岸被災地に行く交通手段がありません。電車も不通、交通網もズタズタ。(ガソリン等燃料の確保が出来ない。1車両 10 時間の給油制限)

★救援物資は被災地まで届ける手段の確保がされていないため、岩手県では個人からの物資は受け付けておりません。企業の大口しか受け付けておりません。

※災害ボランティア、救援物資の受け入れが出来るようになったらお知らせします。



久慈県医労組合員の家。2メートルの津波が襲ったそうです。

全労連などで構成する「東北関東大震災労働者対策本部」も設置

今回の震災は多数の都道県に被害が及び、津波によって被災地が広範囲に及び、被害の多様さなどはこれまでの震災被害と異なっています。このことから単産本部と関係地方組織、全農協労連、全労連で構成する「東北関東大震災対策本部」(震災対策本部)を設置し、被災者救援、支援、被災者対策を国・地方自治体に求める運動を一体的に進めることなどを決めました。

震災対策本部の構成

本部長 大黒作治 (全労連議長)

副本部長 国分博文 (全農協労連委員長)

事務局長 小田川義和 (全労連事務局長)

事務局員 単産・関係地方組織代表、全労連常任幹事